

少子化対策をはじめとする困難な課題に挑戦していくため、行政DXの推進による業務の効率化を図りながら、事業のスクラップ・アンド・ビルドや4つの政策目的基金を有効に活用することにより、積極的に施策を展開するとともに、プライマリーバランスに着目した、持続可能な財政運営を図ります。

行政DXの推進

- 生成AIやデジタルツールの利活用等による業務効率化の推進
- 協議や決裁等のペーパーレス化の推進
- BYODの導入等によるアクセス環境改善
- フリーアドレス等のデジタルオフィス環境の整備

4つの政策目的基金の活用

基金区分	充当額
安心・安全基盤強化基金	8億円
デジタル実装推進基金	1.4億円
脱炭素社会実現基金	1.4億円
活性化・県民活力創出基金	6億円

事業スクラップ等による一般財源の捻出

- 施策的経費のシーリング 5億円
- 庁舎光熱費高騰分等の減 3億円
- コロナ対策関連事業の減 3.8億円

プライマリーバランスの黒字

県債全体 13年連続黒字 (+432億円)

《県債残高の推移》

(単位：億円)

R2	R3	R4	R5	R6
12,109 (△92)	11,839 (△270)	11,511 (△328)	11,333 (△178)	10,942 (△391)

**持続可能な財政基盤を確保し、
少子化対策をはじめとする施策を積極的に展開**